

# 金属製容器の使い方にご注意ください！

## 水筒、やかん + 酸性の飲料

により金属成分が溶け出し、金属中毒を起こすことがあります！

通常短時間では溶け出す金属の量はごく微量であり、金属製容器の内側をコーティングして金属と直接接触しないようにしたり、金属が過剰に溶け出すことがないように様々な工夫がされていますが、

- ・ 金属容器の内側に傷がついている
- ・ 酸性飲料を長時間保管する

などの場合思わぬ事故につながる可能性があります！

### 酸性の飲み物とは

主に炭酸飲料、乳酸菌飲料、果汁飲料、スポーツ飲料等

➡炭酸、乳酸、ビタミンC、クエン酸（柑橘類を始めとする果物に多く含まれます）など多く含む飲み物は、酸性度が高くなります。

**注意①** 容器や飲み物の説明書や注意書きをよく確認し、酸性度の高い飲み物を金属製の容器に長時間保管しないようにしましょう。もし長時間保管した場合は、通常と異なる味や色になっていないかよく確かめましょう！

**注意②** 容器の内部にサビや傷がないか、よく確認しましょう！落としたりぶついたりした場合、外見上異常がないように見えても破損していることがあるので、よく確認しましょう！

**注意③** 古くなった容器は劣化により内部が破損していることがあります。思わぬ事故を防ぐためにも、定期的に新しいものに交換しましょう！

### 実際の中毒事例

○スポーツ飲料を飲んで6名が苦みを感じ、頭痛、めまい、吐き気等を発症

スポーツ飲料は当日朝7時半頃に粉末を水に溶かして水筒に詰めたもので、実際に飲んだその日の2時頃まで保管されていた。実際に飲んだスポーツ飲料は、通常乳白色のところ青緑色に変化しており、水筒の内部には小さな褐色の物質がたくさん付着していた。検査の結果、高濃度の銅が検出され、水筒の内部に付着していた褐色物質も銅だった。この事例の原因は、水筒の内部が破損しており、スポーツ飲料を入れて長時間置いたことで、銅が溶出したことによる。

※参照：[金属製の水筒に飲み物を入れる際の注意点はありますか？【食品安全FAQ】](#) 東京都保健医療局 ([tokyo.lg.jp](http://tokyo.lg.jp))